



学校法人 松樹学園

信州リハビリテーション専門学校

# 信リハ通信



第16号 2021年1月発行

## 新型コロナウイルス感染症への対応

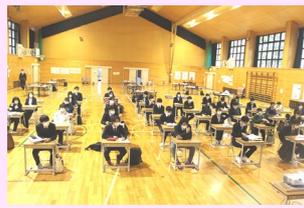
学校長 村松 秀明

長期にわたるコロナ禍により、学生には知識は勿論、実技や人と関わる経験等、学びの機会が制約される中、可能性を探りながら過ごしてきました。学生、保護者、関係各位のご理解とご協力に感謝し、これまでの対応をお伝えします。

4月早々休校としましたが、授業は早期より課題と遠隔で行い、前期予定は実施できました。対面授業は体育館と実習室で行い、実技ではフェイスシールドを着用し小まめな消毒を実施しています。実習は3年生の1期（8週）を学内実習とし、2期は県内諸施設に依頼し経験する事ができました。1年生の介護実習も学内実習とせざるを得ませんでした。日常では体温と行動記録を確認しており、検温等は来訪者にも実施しています。学校説明会は遠隔や2部制に切り替え開催し、多くの方に参加いただきました。感染対策に努め「健康」での学びを継続してまいります。



【登校時A Iサーマルカメラによる検温】



【体育館での授業】



【消毒作業】



【実技授業中の手指消毒】



【フェイスシールドを着用しての実技授業】



## 学内実習（臨床実習Ⅰ）

3年生の実習は8週間を2回行います。学生のこの時期の臨床経験は人生においても忘れられない経験であります。しかし、本年度は新型コロナウイルスの影響で前半の実習を断念し学内で行うことになりました。学内では症例に接することはできませんが、リアルな情報を提示し一連の理学療法の過程を考えた後に、実際に症例を担当した理学療法士の考えとの違いを考察することで、少しでも臨床実習に近いものとなりました。学生たちは事前に考えることの大切さを感じたようです。

## 新任の挨拶



よしざわ としお  
専任教員 吉澤 利夫

今年度7月より入職しました、吉澤利夫と申します。実家は松川村で、趣味は釣りと、なかなか上達しませんが昨年からはボルダリングを始めました。

この学校を1期生として卒業し医療施設で沢山の事を学んできました。その一部でも学生の皆さんに伝えられれば嬉しいです。

皆さんが楽しい学園生活を送れるよう、サポートを頑張りますのでよろしくお願いいたします。

## 理学療法概論実習

7月6日～8日、1年生は理学療法概論実習を行いました。本来なら、関連法人施設での介護体験予定でしたが、コロナ対策のため学内で、障害体験、介助方法などの実技等を行いました。模擬利用者に扮した教員から本人の希望を聞き出し、皆で協力し合い、見事にそれを実現できました。事後学習として「求められるPT」についての発表も素晴らしく工夫されていました。



## 障がい者スポーツ

8月19日(水)に長野県障がい者スポーツ協会から3名の講師をお招きして、障がい者スポーツについて勉強しました。ポッチャと車いすバスケットボールの実践では、スポーツの楽しさと障がいの不便さを同時に体験し、サポートする者の心構えを改めて考え直すことができました。



## 合同実技演習

9月7日(月)、8日(火)の2日間、1・2年生合同での実技演習を実施しました。今年は感染対策を徹底した上で演習を行いました。最初に感染対策について学び、除菌や消毒の方法も実技を通して確認しました。面接や測定はフェイスシールドやマスクを装着し、測定後は消毒を行いました。合同で学習したことで親睦を深め、互いに良い刺激になりました。



## 解剖学演習（模型作成）

1年生の授業に、身体の中の構造を立体的に把握し、理解を深めるための「解剖学演習」という授業があります。学生自らが、標本や参考書を見ながら人体各部の模型を作製し、模型を使用したプレゼンテーションを行いました。各々創意工夫がみられ、楽しみながら、なおかつわかりやすく学習が進んでいきました。これからの勉強や臨床に是非活かして欲しいです。



## 防災訓練

11月12日(木)に火災を想定した防災訓練を実施しました。木曽消防署北分署の署員からご指導をいただき、消火器、消火栓の使用方を学びました。将来、医療福祉の現場で働く者として、防災への意識を新たにすることができました。



## 環境美化

掃除は心を育み、良い人材を生み出します。毎日の清掃と年5回の環境美化で学校を隅々まで清掃しております。今年環境美化では、感染予防の観点からも「清潔」と「消毒」をバランスよく取り入れて美化しました。



# クラスマッチ



イベント委員長 2年 伊藤 彩乃



今年は、新型コロナウイルスの影響で文化祭などの行事がなくなってしまいました。その中で、村松学校長を始めとする諸先生方とイベント委員、本部役員を中心に話し合い、感染対策を十分に確保した上でクラスマッチを行うことが出来ました。例年より応援などを控えたため、盛り上がりにかけてしまった部分はありましたが、全学年に楽しんで頂けました。今回の行事を通してクラスの団結、縦の繋がりも強くなる充実した一日になりました。



## FM長野出演



11月6日(金)の16:30頃、FM長野346 GROOVE FRIDAY!に出演いたしました。出演者の2年生上原隼太さんは、レポーターの佐藤美智子さんの舌妙なトークに誘われ、三四六さんの突っ込みにも動じず、素晴らしい受け答えでした。本校のコロナ対策、それらの経験から得られたこと、オープンキャンパスの宣伝をさせて頂きました。

## 国家試験日程

第56回  
理学療法士国家試験  
令和3年2月21日(日)  
  
合格発表  
令和3年3月23日(火)



## 卒業生の声

3期生 介護老人保健施設 まほろばの郷 名取 拳 先生



私は、10年前に3期生として入学し、卒業後は病院にて回復期や外来での経験を経て、現在は介護老人保健施設で働いています。在学中は、辛いことも楽しいことも学生や先生方と共有して充実した時間を送れました。臨床の現場では、患者様の年齢も広範囲にわたるため、それぞれコミュニケーションの取り方に配慮し、明るく親切に丁寧にそして謙虚をモットーに仕事に取り組んでいます。最もやりがいを感じることは、やはり患者様・利用者様からの感謝の言葉です。「ありがとう」「おかげさまで良くなったよ」その一言で理学療法士として働いていることに喜びを覚えます。一方で、その方の人生が自分の関わり方で良くも悪くもなり得るという責任の重さを理解し、日々自己研鑽が必要だと感じています。今でも仲間と胸を熱くさせ、今後の目標や取り組み方を話すことが出来るのは、在学中に関わった皆のおかげだと思います。今後も、同窓会等を通じて、様々な年代の卒業生ともコミュニケーションを取る機会を設けられたらと考えています。

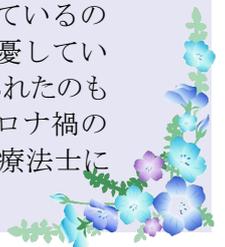


## 保護者の声

3年生 百瀬彩花さん 保護者 百瀬 和夫 様  
1年生 陸さん 加代 様



娘はクラシックバレエで身体を痛め治療していただき、息子は野球の大会等で常駐されている理学療法士の先生に憧れ、目指すこととなりました。専門的な勉強が始まり息子は今までで一番頑張って勉強に励んでいます。娘は実習など経験させていただき、頑張ろうと思う反面本当に自分は理学療法士に向いているのだろうか泣きながら机に向かっていた日々もありました。最後の実習では毎日一喜一憂していましたが、たくさんのお話を学ばせていただき充実した8週間でした。娘がここまでこられたのも先生方やクラスの皆さんが励まし導いて下さったからです。感謝申し上げます。このコロナ禍の中で、実習に行けること、勉強ができることに感謝し、患者さんに心から寄り添える理学療法士になって欲しいと思います。



# 令和2年度学校自己評価結果について

学校長 村松 秀明



本校では例年、より良い学校づくりを目的に、教職員が学校の理念・目標に照らして自らの教育活動について自己評価を行い、また学生による授業アンケート、学生アンケート、保護者アンケートを実施しています。

学校自己評価は、教職員が11分野50項目のアンケート形式で、4段階評価（4：良く取り組んでいる、3：まあまあ取り組んでいる、2：あまり取り組めていない、1：全く取り組めていない）にて行いました。

分野	評価(前年度)	分野	評価(前年度)
1 教育理念・目標・育成人材像等	3.70 (3.52)	7 学生募集と受け入れ	3.88 (3.86)
2 学校運営	3.72 (3.44)	8 財務	3.90 (3.64)
3 教育活動	3.90 (3.67)	9 法令等の遵守	3.94 (3.91)
4 教育成果	3.53 (3.22)	10 社会貢献	3.75 (3.62)
5 学生支援	3.64 (3.45)	11 意見要望の把握及びその活用	3.73 (3.56)
6 教育環境	3.83 (3.67)	全体平均評価	3.78 (3.60)

各分野では概ね良好な結果でした。例年は50評価項目の内に評価値が3.0より低い項目（昨年度は3項目）がみられますが、今年度はありませんでした。中でも「3教育活動」「8財務」「9法令等の遵守」の評価は高く、具体的には・教育目標を掲げ人材を育成するべく取り組んでいる、・新カリキュラムで臨んでいる、・財務情報の公開も含め管理されている、・設置基準等を遵守し、学則も適正かつ実情に即している、・本結果を公表しているなどが高評価項目となっています。

「4教育成果」の内、卒業生・在校生の社会的活躍及び評価の把握の項目が3.10でした。卒業生への支援体制はあるかの項目も3.30で、対策として卒後の繋がりを現状より高める必要があります。同窓会を通じて情報交換の機会が持てると把握等にも繋がると考えられ、今後の課題といえます。

学生と保護者への3種のアンケートの満足度（満足している・やや満足している、良くあてはまる・まあまああてはまる）は、以下の通りです。

「学生による授業アンケート」 94.7%（前年度91.7%） 「学生アンケート」 91.1%（前年度81.8%）

「保護者アンケート」 94.7%（前年度94.7%）

自己評価だけでなく、授業や学生・保護者への満足度が向上していました。コロナ禍での授業対応が、早期から課題と遠隔により実施できたことと、感染対策への取り組みは高く評価されていました。遠隔機能は、今後の授業や説明会でも有効活用していきます。実習やボランティアなど学外での学びや、地域活動への参加はできませんでしたが、可能となれば一層力を入れて取り組んでいきます。新カリキュラムにより知識の定着を図り、学生一人一人の個性を捉えた対応と、初心を貫徹できるよう関わります。今回の結果を真摯に受け、より良い学校運営に努めてまいります。

## 関連法人

医療法人社団 敬仁会



【桔梗ヶ原病院】

社会福祉法人 平成会



## 姉妹校

【有料老人ホーム せせらぎ】



学校法人 松樹学園

信州介護福祉専門学校

編集後記：信リハ通信第16号をお読みいただきありがとうございます。新年を迎え教職員一同、気持ちも新たに良い学びの場になるよう感染症対策を徹底し安心安全の確保に努めてまいります。お読みいただいた感想、ご意見等ありましたらぜひお聞かせください。



学校法人 松樹学園

信州リハビリテーション専門学校

〒399-6301 長野県塩尻市贄川1215-2

TEL：0264-34-1023/FAX：0264-34-3371

<https://syoujyu-g.ac.jp/reha/>



信リハ | 検索

最新情報を更新中です  
ぜひご覧ください♪